

こんにちは。もう 12 月に入り、こちらではどんどんクリスマスの準備を進めています。家ではクリスマスツリーを飾り付けたり外にサンタや雪だるまの置物をおいたりして、学校でも教室のドアがクリスマスのテーマで飾り付けられたりしています。ハロウィンの時もそうでしたが、近所の子家の飾り付けを学校からの帰り道に見るのがとても楽しいです。また、例年のこの時期には雪がたくさん積もっているらしいのですが、地球温暖化の影響なのか、まだ雪はうっすらとしか積もっていません。例年よりも寒くないのは嬉しいけれど、ホワイトクリスマスも見てみたいなあ、と思っています。11 月の報告書では、アメリカの大切な行事の一つである感謝祭(Thanksgiving)について書いていきます。

そもそも感謝祭とは、キリスト教から生まれ、収穫などのさまざまな恵みに感謝をするという意味のある行事です。起源は 1621 年にまで遡って、アメリカへわたってきた巡礼者たちがアメリカでの最初の 1 年の困難を乗り越えられたことを神様へ感謝し、一緒に食事をしたことが始まりとされています。アメリカでは 11 月の第 4 木曜日が感謝祭の祝日とされており、その前後は仕事や学校もお休みになるところが多くあり、家族全員で集まって過ごします。

私はホストマザーの家族が住むミシガン州で感謝祭を過ごしました。感謝祭の定番料理である七面鳥やパイを食べたり、家族全員でゲームをしたりしました。また、ホストマザーの家族とはクリスマスには会えないので Thanksmas(Thanksgiving と Christmas を合わせたもの)として、クリスマスプレゼントの交換もしました。アメリカでは高校生くらいになるとプレゼントをもらうだけでなく家族に渡すそうです。ホストマザーの家族と実際に会うのはこの時が初めてだったのですが、みんな暖かく迎えてくれて楽しいホリデーを過ごすことができました。家からは 8 時間のドライブと簡単に会える距離ではないのですが、また会うのがとても楽しみです。

また今月は学校でも、学年での校外学習があったり、ドラマクラスでクリスマスキャロルの演劇を見に行ったり州ファイナルで演劇をしたりなど、様々な行事がありました。大きな舞台でたくさんの方の前でするのはとても緊張したけれど達成感があったし、他の学校の演劇も見ることができて、同じ高校生と思えないくらい堂々と舞台をする人もたくさんいて、すごくカッコよかったです。これらの行事を通して、普段の学校の授業の外で新しいことを経験できたことが嬉しかったです。

今月はホストマザーの家族だけでなく、新しい人に会う機会が多かったのですが、多くの方がフレンドリーで暖かいし、私もコミュニケーションがもっと上手く出来るようになったから、そのような機会がとても幸せでした。そして、その人たちは私がアメリカで過ごす期間の中で何度も会える人ばかりではないからこそ、1 回 1 回を大切に楽しく過ごしたいと改めて思いました。